一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は20人の議員が質問に立ち、40項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。
- ➤第４回定例会の会議録は、3月上旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。
- ➤会議録検索システムは、3月上旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議の様子を市議会のホームページからご覧ください。
- ➤生中継は本会議当日のみ。
- ➤録画中継は、本会議当日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から。
- ➤スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

1 秋山薫（市民クラブ）

委託業務（コンサルタント業務）を精査し、経費削減と職員のスキルアップを図る

問 現状の委託業務を精査し、経費節減と職員のスキルアップをもっと図ることは出来ないか。

答 仕事を行うためのスキルは、学ぶ意思と経験、実績を重ねることにより得られるものと考えます。業務を委託する場合でも、経験の蓄積につながる仕事、スキルアップになる仕事をし、成果、結果をチェック出来る職員育成を目指します。

市及び地域の諸課題について問う

問 産業まつりの会場と隣接する、仲田公園との一体感をもう少し出すことが出来るのでは。

答 より効果的な利用が図られるよう、実行委員会で検討を重ねます。

2 吉岡奈津恵（無会派）

～全ては市民の益のために～行政サービス改革推進と行政評価について

問 就労準備支援事業の早期実現に向けた要望について問う。

答 生活困窮者の状態に応じた支援は複数用意されています。中間的就労を行う事業者の認定は都が行うため、既存業を有効活用し、支援の場を提供します。当該事業を既に実施している自治体にヒアリングなどを行い、積極的に検討します。

問 総合窓口のあり方の見直しについて問う。保険や福祉に関する手続書類を市民窓口課で一括作成することで、手続き漏れを防ぎ、複数の申請書類を記入する負担を省略します。そのため、ICTを活用し、他部署とデータ連携を図り、手続きの効率化と市民サービス向上を目指します。

3 有賀精一（無会派）

災害時の避難対策等について問う～台風21号の経験を基に～

問 災害時の障害者対応マニュアルの有無について問う。

答 現在、福祉避難所開設マニュアルを作成しています。

説明責任を果たす市役所の業務上の記録・報告書について問う～業務実践の蓄積・継承のために～

問 国・都から文書記録や保管に対する支援はあるか。

答 研修の実施などを通じて支援を受けています。

問 日野市の再生可能エネルギー政策等を問う～CO2削減の先進自治体へ～

問 根川における小電力発電の可能性について問う。

答 今後の課題として、検討します。

4 鈴木洋子（自由民主党）

住み続けたい・笑顔溢れる日野に向けて

問 子育て世代包括支援センター設置に向けた進ちょく状況について問う。

答 具体的な事業内容や連携の仕組みなどについて検討しています。

問 小規模保育所の設置について問う。

答 待機児童解消に向け、10月に1園開設しました。引き続き保育サービスの提供に努めます。

豊田駅周辺の魅力、もっと引き出そう

問 商店街の活性化について問う。

答 （仮称）商業振興条例の策定に向け、来年度に多様な主体による協議会を立ち上げる予定です。

問 豊田駅南口周辺の今後について問う。

答 地区まちづくり協議会を中心に地域の中で消費者や生産者、サービス提供者をつなぐ支援をします。

5 馬場賢司（公明党）

高齢者の居場所づくり拡充や健康事業の充実について

問 認知症カフェやふれあいサロンなど、高齢者の居場所支援の取り組みについて問う。

答 地域に根付いたサロンを今後も計画的に増やし、住民主体によるサロン活動が地域に密着し、住民が気軽に集える居場所として将来にわたり継続出来るよう、今後も必要な支援を行います。

問 若者の意見や提言を市政に反映させる場を作る自治体が増えているが、市の今後の取り組みについて問う。

若い世代の皆様の声を生かした取り組みを

答 他市の取り組みを参考に、若い世代が日野市に関心を持ってもらうため、地域活動に関わっていく機会を増やす取り組みを検討します。

6 古賀壮志（自民党新政会）

中長期的な視点での市政運営について

問 今後の市内幹線道路網の整備について問う。

答 都市計画道路の整備により、広域幹線道路のネットワークが完成され、安全で快適に移動出来、活気のあるまちが実現されると考えています。

問 ものづくりのまちとしての将来像について問う。

答 研究開発業の新規設備投資を対象に固定資産税、都市計画税相当額の奨励金の交付期間を延長するなど、イノベーションが生まれやすい地域環境を形成することで、良質な雇用や税収が確保されると考えています。

問 今後の子育て施策の将来像について問う。

答 子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する施策を充実させ、「子育てしたいまち、しやすいまち日野」を次世代へ引き継ぎたいと考えています。

7 大高哲史（日本共産党）

旧高幡台小学校をはじめ、公共施設の耐震化を促進し、安心して暮らせる日野市に

問 旧高幡台小の災害時における課題を問う。

答 避難訓練などに際して困難や問題があったということはなく、火災、地震が発生した場合、どこにいても2経路以上の避難通路が確保出来ていると認識しています。

ワゴンタクシーの土日運行など、市内公共交通を拡充し、気軽に出かけられる日野市へ

問 ワゴンタクシーの土曜・日曜日、祝日運行について問う。

答 将来の需要などを考慮しながら検討します。

問 シルバーパスのモノレールへの適用について。

答 市長会の要望に加えていくことを近隣市とも調整、検討します。

8 池田利恵（自由民主党）

買い物弱者を救え！

問 買い物弱者対策の喫緊の課題について問う。

答 南平地区の移動販売は、開始間もないこともあり、利用者が少ないため、積極的に事業をPRします。また、商業空白地域への移動販売実施に向けて、前向きに協議を進めます。

がけ・橋の整備で街に安全と活性化を！

問 平山６丁目の土砂災害防止対策について問う。

答 今年度から安全対策事業に着手し、今後も都と連携して事業を進めます。

問 日野バイパス延伸区間の橋について問う。

答 今年度から国による測量が開始されました。利便性、安全性が確保された橋となるよう、八王子市と連携し、協議を進めます。

9 奥野倫子（無会派）

単身高齢者対策を急げ！

問 今後の取り組みについて問う。

答 介護予防・日常生活支援総合事業にないサービスを来年度から生活支援体制整備事業で実施する予定です。また、在宅医療・介護連携支援センターの設置や在宅療養のネットワークの構築も進めます。

深い堀、煙害、歩道・自転車ゾーンの凸凹…地域の安全対策を！

問 日野駅ロータリー側の喫煙場所について問う。

答 非喫煙者への受動喫煙防止の観点から、喫煙スポットの撤去やパーテーションの設置などを検討します。

問 歩道や路側帯の整備について問う。

答 車道舗装と合わせて、必要に応じた補修工事を実施しています。

10 清水登志子（日本共産党）

介護保険次期計画①介護保険料の抑制②特養ホーム等の増設、③介護事業所への支援策について問う

問 介護職員の確保について問う。

答 介護人材を確保する上で、介護の仕事の大切さや魅力が伝わるような事業を展開します。

ここまでするか、負担増・サービス切り捨ての第五次改革を問う

問 市の考え方について問う。

答 いずれも必要な事業ですが、時代とともに中身も変化するため、質の改善も含め、検討します。

11 近澤美樹（日本共産党）

安心・安全の放課後を一人小地域に学童クラブの増設を

問 今後の整備方針について問う。

答 児童数の出現率上昇を注視して必要な改修などを計画的に行います。

出会い・行き交い・学び合うまちに！万願寺地域に図書館・公民館などの公共施設を

問 この地域の公共施設の整備方針について問う。

答 本格的な人口減少が見込まれる中、市内全体のバランスと優先順位を考慮して、さらなる研究が必要と考えます。

新可燃ごみ処理施設は建設工事の凍結を！

問 法令遵守をせずに一体どう考えているのか。

答 都市計画法にほか法令を適切に守っていますので、違法性はありません。

12 田原茂（公明党）

日野市の国保の広域化対応について

一時保育等の改善について

問 低所得者への対策について問う。

答 一部の軽減制度は、所得制限額が引き上がり、対象者が増える見込みです。市では、被保険者に申告書を送付して所得の把握に努めます。

問 保険税の値上げについて問う。

答 将来を見据えて、課税方式の変更を検討していますが、来年度は、広域化に伴う税率の変更は予定していません。

問 ０歳児一時保育の新設と、子育て広場の日曜日開設を実施するべきと考えるが、市の対応について問う。

答 どちらの事業も来年度から地域子ども家庭支援センター多摩平で開設し、子育て支援の充実を図ります。

13 窪田知子（公明党）

予防で命を守る取り組み　健康・教育について

問 子宮がん検診受診率向上のために、ふらっとエクササイズ事業で周知することを提案するが、市の考え方について問う。

答 参加者への周知は有効と考え、PR活動を行いたいと思います。

問 検診受診率向上のために、市外でも受診出来るように拡充を求めるが、市の考え方について問う。

答 受け入れ余地の有無など、課題は多いですが、受診率向上のために、前向きに検討します。

食品ロス削減の取り組みについて再度問う

問 所管課を決めて推進すべきと考えるが、市の考え方について問う。

答 子どもの貧困やごみ減量など、多岐にわたるため、企画経営課が中心となって体制を整えます。

14 鈴木勝豊（市民クラブ）

諸力融合で取り組んでいる事業の進捗を問う

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の今後について問う。

答 地域懇談会を土台として、他市の事例も研究しながら、官民連携による社会課題への取り組みを進めていきます。

問 地域懇談会の今後について問う。

答 これまでの取り組みを継続し、地域の人と人との出会いの場や居場所づくりを進め、地域の価値や課題解決力を高めていくことを目指します。

災害に強いまちづくりに向けて

問 避難情報の問題点と今後の対策について問う。

答 避難情報の呼称変更が浸透していないという課題があるため、防災マップ、洪水ハザードマップを市内全戸に配布して周知を図ります。

15 奥住匡人（自民党新政会）

国民健康保険の広域化における市民の影響について

問 ９月議会で提出された要望書、意見書に対する市の考えについて問う。

答 保険税率の見直しによって急激な改定とならないように配慮する必要があると考えます。また、負担軽減策についても国へ要望しています。

市民の安全安心のために、大雨対策の早期実現を！

問 大雨災害への対策について問う。

答 都が設置した、流域下水道施設雨天時対策検討会へ対策を講じるよう要望するとともに、下水道施設長寿命化計画などに基づき、最適な対策工事を実施します。

問 民有地の崩落危険地区への対策について問う。

答 都や地元住民の方と協力して急傾斜地崩壊防止事業を進めます。

16 大塚智和（公明党）

「住み続けたいまち・日野」を考える

問 教員の長時間勤務に対する、市教育委員会の改善策について問う。

答 校務の効率化などを目的とした1人1台のコンピューター配置、小学校へ都配置だけでなくスクールカウンセラーを配置した学校支援体制の整備のほか、毎週水曜日の早時退勤の呼び掛けなど、長時間労働の改善に向けて、具体的な対策を推進しています。

「働き方改革」を考える

問 移動期日前投票所やワゴンタクシーの土曜・日曜日運行について問う。

答 自助または家族や地域の方の手助けによる共助が原則です。

高幡台団地73号棟跡地の活用について

問 地区まちづくり協議会の進ちょくを問う。

答 協議会の総会で、高幡台団地地区まちづくり計画案を市長に提出する予定です。

17 梅田俊幸（自由民主党）

日野市のまちづくり～・土地区画整理事業について・土砂災害防止法について

問 土砂災害警戒区域などに指定された場所への市の対応について問う。

答 土砂災害警戒区域、避難所、情報の伝達方法などを記載したハザードマップを来年度作成し、関係する世帯への戸別配布を予定しています。

問 区画整理事業の計画変更について問う。

答 経済状況などにより、計画変更をしながら進めたことで、長期化しましたが、市の発展につながる基盤整備として進んでいると考えています。

問 保留地売却について、市の考え方を問う。

答 建て売りに限定した不動産会社への売却可能な制度導入など、保留地に関する各種制約を段階的に緩和し、購入者の幅を広げていくことを検討しています。

18 谷和彦（自由民主党）

日野駅改良及び駅周辺整備について～西口改札設置・神明／大坂上からのアクセス向上～

問 日野駅改良に向けた動きについて問う。

答 JR東日本に精通した企業と業務委託契約を結び、日野駅周辺整備計画に関する調査を開始しました。この調査結果をもとに、駅改良の方向性を慎重に定めていきたいと考えています。

地方再犯防止推進計画の策定について～安全安心なまちづくりのために早期準備を～

問 地方再犯防止推進計画の策定について、市の考えを問う。

答 庁内各課が連携し、国・都が策定する再犯防止推進計画の内容確認や近隣市の動向について情報収集を進め、計画策定について検討します。

19 峯岸弘行（公明党）

投票率アップのための対策について

問 移動期日前投票所やワゴンタクシーの土曜・日曜日運行について問う。

答 自助または家族や地域の方の手助けによる共助が原則です。

高幡台団地73号棟跡地の活用について

問 地区まちづくり協議会の進ちょくを問う。

答 協議会の総会で、高幡台団地地区まちづくり計画案を市長に提出する予定です。

問 要援護者の避難対応について問う。

答 自助または家族や地域の方の手助けによる共助が原則です。

高幡北側の水害対策について

問 啓発活動を問う。ポスター掲示とチラシの配布を行っています。

答 総合的に考慮し、投票環境の向上に努めます。

北朝鮮人権侵害啓発事業について

問 啓発活動を問う。

答 ポスター掲示とチラシの配布を行っています。

20 中嶋良樹（市民クラブ）

公共スポーツ施設の維持・補修に充分な財源を！～スポーツで社会の課題解決に挑戦～

問 維持、補修に十分な財源が充てられているか。

答 厳しい財政状況が続く中、施設の状況を把握し、優先順位を付けて対応しています。

問 地域スポーツコミッションの設立に向けた市の見解を問う。

答 スポーツ庁が推進している取り組みには及びませんが、地域のスポーツ資源を活用した取り組みは、市が目指す観光振興につながるものと考えます。

問 スポーツ行政の一元化について問う。

答 原則として、文化スポーツ課で集約していますが、設備など使いやすい仕組みを維持する必要性と所管を越えて情報や管理のノウハウなどを共有し庁内連携を図ります。

政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。

これらの行為は全て禁止です！

贈らない！ 求めない！ 受け取らない！

主な議題

1面に続き、平成29年第４回定例会で審議された主な議題を紹介します（議案名は一部要約しています）。

●市一般職員の給与に関する条例の一部改正 可決

都人事委員会の勧告を踏まえ、市の一般職員の給与を改定するものです。

（平成29年12月1日施行）

●市職員の勤務時間・休日・休暇等に関する条例の一部改正 可決

市職員の子どもの看護休暇の取得要件を改定するものです。

（平成30年1月1日施行）

●市営住宅条例の一部改正 可決

公営住宅法及び東京都住宅条例の改正に伴い、認知症患者の収入申告義務及び入居資格における収入基準を緩和するものです。

（平成30年1月1日施行 ※一部を除く）

●市税条例の一部改正 可決

都市計画税の税率の適用を平成32年度まで延長するものです。

（平成30年4月1日施行）

●体育施設条例の一部改正 可決

賃貸借契約が終了する万願寺グラウンドを廃止するものです。

（平成30年4月1日施行）

●市役所本庁舎免震改修工事請負契約の締結 可決

市役所本庁舎免震改修工事の請負契約を締結するものです。

第４回定例会で可決された意見書は１件で、東京都知事宛に送付しました。要旨は次のとおりです。（全文は、市議会ホームページに掲載）

■東京都受動喫煙防止条例化に関する意見書

都は平成30年第１回定例都議会で「東京都受動喫煙防止に関する条例」を制定するとしています。平成29年９月には「東京都受動喫煙防止条例（仮称）の基本的な考え方」を公表して、施設ごとの規制範囲や罰則つきの条例を目指すことなどが示されました。受動喫煙防止対策は、都民の健康増進の観点はもとより、２０２０年東京オリンピック・パラリンピック大会のホストシティの責務としてその対策を一層推進していくべきです。

一方で、その対策は、さまざまな分野の経済活動や都民の暮らしに影響を及ぼすとともに、関係事業者の理解と協力があって、初めて実効性が担保され、効果的な対策となります。加えて、現在国政において法制化の議論が行われ、規制基準のあり方などを含め、議論が取り交わされています。

よって日野市議会は、都が受動喫煙対策条例を制定するに当たっては、東京の実態に即した、多くの都民の理解と共感を得られる受動喫煙防止条例となるよう、次の事項を要望します。

①都は、各市町村と協議すること。

②都が実施してきた、分煙補助事業、店頭表示との整合性や、それらの諸対策を実施してきた各種業界や都民等の意見も踏まえて検討を行うこと。

？ 意見書とは、市の公益に関することについて、議会の意思をまとめた文書のことです。議会は、その意見書を政府や国会などの関係機関に提出することが法律で認められています。

寒風を笑顔で走る、持久走　撮影：設楽誠一さん（日野在住）
日野市観光協会主催「伸びゆく日野市写真コンクール」入賞（ふれあい橋付近　浅川左岸土手）

？ 一般質問とは、議員が市の事務の執行状況や、将来の方針などの説明・報告を市長などに求めるものです。これによって、市が市民のために適切な市政運営を進めているか、議員がチェックします。質問方法は、効率的に議事が進行するように、あらかじめ質問の趣旨を伝える通告制を採用しています。年４回の定例会ごとに一般質問をすることが出来ます。また、１回の持ち時間は質疑・答弁を含めて60分となっています。